

安全に関する情報リスト

施設の基本情報								津波シナリオ、影響評価、対策等									
No.	施設	A 施設の使用目的	B 主なインベントリ等				C 建家の耐震性/耐津波性評価				1 設計津波が来たら何が起きるか	2 設計津波により当該施設の安全機能が損われた場合の環境への影響評価・評価の前提とした対策	3 設計津波に対するリスクをより小さくするための対策等	4 潜在リスク、対策の効果等を踏まえた対策の優先度			
			✓主な設備 ✓内包する放射性物質のインベントリ、性状等		性状・貯蔵/保管状況等		インベントリ (令和2年6月末時点)		建家の耐震分類	構造					耐震性*1	耐津波性*2	
2	分析所 (CB)	各工程の試料の分析、放射線管理					B類	地下1階、地上3階 RC造	設計地震動に対し、建家が維持されない可能性がある。 (地下階は維持される。)	設計津波に対し、建家が維持されない可能性がある。 (地下階は維持される。)	比:0.6(地上階)、2.4(地下階)	比:0.7	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・グローブボックス等が維持されず、放射性物質の一部が建家外に流出する可能性がある。 ・設計地震動に対して、地下階の貯槽等は、維持されない可能性があるがそれを包含するセル等は維持される。 ・地下階のセルには、給気口等の開口部があるため、海水の流入は否定できず、貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性がある。	地上階の放射性物質が建家外に流出する可能性があるが、インベントリが小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ①)	検討中	【優先度①】標準試料の移動	
			分析廃液	溶液(貯槽) BF1	約11m ³	約1.7×10 ¹² Bq											FP (Cs-137等)
3	廃棄物処理場 (AAF)	低放射線の液体廃棄物の処理及び低放射線の固体廃棄物の処理	低放射性濃縮廃液	廃液(貯槽) BF	約581 m ³	~10 ¹⁴ Bq	B類	地下1階、一部地下中2階、地上3階 RC造	設計地震動に対し、建家が維持されない可能性がある。 (地下階は維持される。)	設計津波に対し、建家は維持される。	比:1.3(地上階)、3.6(地下階)	比:1.2	・設計地震動に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・設計地震動に対して、地上階の貯槽等は維持されず、放射性物質が建家外に流出する可能性がある。 ・設計地震動に対して、地下階の貯槽等は、維持されない可能性があるがそれを包含するセル等は維持される。 ・地下階のセルには、給気口等の開口部があるため、海水の流入は否定できず、廃液の一部が環境に流出する可能性がある。 ・地上階の低放射性固体廃棄物等が浸水し、海水へ移行した一部の放射性物質が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性があるが、セルが維持されるため、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)	検討中		
			低放射性廃液	廃液(貯槽) BF	約387m ³	~10 ¹¹ Bq											C-14 FP (I-129、Cs-137等)
			廃溶媒	廃液(貯槽) BF	約19 m ³	~10 ¹⁰ Bq											FP (Cs-137等)
			低放射性固体廃棄物	カートンボックス、袋 1F、2F	約20 t	~10 ¹⁰ Bq											FP (Cs-137等)
			ヨウ素フィルタ (AgX)	保管容器に保管 1F	30基												FP (I-129)
			ヨウ素フィルタ (活性炭)	保管容器に保管 1F	3基												FP (I-129)
4	クリプトン回収技術開発施設 (Kr)	クリプトンガスの貯蔵	クリプトンガス	気体(シリンダ) BF1	4本	9.0×10 ¹⁴ Bq	Kr	B類	地下1階、地上2階(一部地上3階) RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。	設計津波に対し、建家は維持される。	比:1.8	比:1.6	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・セルは設計地震動及び設計津波に対して維持されるが、給気口等の開口部があるため、浸水する可能性がある。 ・セル内の貯蔵シリンダの閉じ込めは維持される。	貯蔵シリンダの閉じ込めは維持されるため、環境への影響はない。		

安全に関する情報リスト

No.	施設	施設の基本情報						津波シナリオ、影響評価、対策等						
		A 施設の使用目的	B 主なインベントリ等 ✓主な設備 ✓内包する放射性物質のインベントリ、性状等		C 建家の耐震性/耐津波性評価 *1:比は保有水平耐力比の最小値 *2:比は保有水平耐力/津波荷重の最小値		1 設計津波が来たら何が起きるか	2 設計津波により当該施設の安全機能が損われた場合の環境への影響評価・評価の前提とした対策	3 設計津波に対するリスクをより小さくするための対策等	4 潜在リスク、対策の効果等を踏まえた対策の優先度				
		性状・貯蔵/保管状況等	インベントリ (令和2年6月末時点)		建家の耐震分類	構造	耐震性*1	耐津波性*2						
5	高放射性固体廃棄物貯蔵庫 (HASWS)	高放射性の固体廃棄物の貯蔵	雑固体廃棄物、ハルエンドピース等	ハル缶等 (セル)	約576.8m ³	FP (Cs-137等)	A類	RC造 (上家はS造)	設計地震動に対し、セルは維持される。(設計津波に対し、上家は維持されない可能性がある。) 比:0.7 (上家)、7.7 (セル)	設計津波に対し、セルは維持される。(設計津波に対し、上家は維持されない可能性がある。) 比:0.1 (上家)、4.7 (セル)	設計地震動及び設計津波に対して、ハルエンドピース等を貯蔵するセルについては、維持される。 ・セルには、給気口等の開口部があるため、海水の流入は否定できず、プール水の一部が建家外に流出する可能性がある。 ・セル内の分析廃棄物用容器内の分析廃ジャグ等と海水の接触により、放射性物質の一部が建家外に流出する可能性がある。	プール水の一部の建家外に流出する可能性があるが、セルが維持されるため、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)	分析廃ジャグ等が海水に接触し、放射性物質が建家外に流出する可能性があるが、セルが維持されるため、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)	検討中
		分析廃ジャグ等	分析廃棄物用容器 (セル)	約278.1m ³	FP (Cs-137等)									
6	ガラス固化技術開発施設 (TVF)ガラス固化技術開発棟	高放射性廃液のガラス固化、ガラス固化体の保管	ガラス固化体	ガラス固化体 (保管ビット6段積) BF	316本	FP (Cs-137等)	A類	地下2階、地上3階 SRC造	/	/	/	/	/	/
		高放射性廃液 (洗浄液)	廃液 (貯槽) BF	約3 m ³	約8.8 × 10 ¹⁴ Bq	FP (Cs-137等)								
		ヨウ素フィルタ (AgX)	保管容器に保管 BF2	6基		FP (I-129)								
7	プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF)	MOX粉末の貯蔵					A類	地下1階、地上4階 (一部塔屋) RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。 比:1.6	設計津波に対し、建家は維持される。 比:1.2	設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・設計地震動に対して、地下階のセル外の貯槽等は、維持されず、ウラン溶液の一部が建家外に流出する可能性がある。 ・ビット内の貯蔵容器の閉じ込めは維持される。 ・グローブボックスの浸水により、放射性物質の一部が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内のウラン溶液の一部が建家外に流出する可能性があるが、インベントリが小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ④)	グローブボックス内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性があるが、インベントリが小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑥)	【優先度①】凝集沈殿焼体・中和沈殿焼体の安定化処理
8	高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	高放射性の液体廃棄物の貯蔵	高放射性廃液	廃液 (貯槽) BF1	約341 m ³	FP (Cs-137等)	A類	地下1階、地上4階 (一部地上5階) RC造	/	/	/	/	/	/

安全に関する情報リスト

施設の基本情報										津波シナリオ、影響評価、対策等					
No.	施設	A 施設の使用目的	B 主なインベントリ等				C 建家の耐震性/耐津波性評価				1 設計津波が来たら何が起きるか	2 設計津波により当該施設の安全機能が損われた場合の環境への影響評価・評価の前提とした対策	3 設計津波に対するリスクをより小さくするための対策等	4 潜在リスク、対策の効果等を踏まえた対策の優先度	
			性状・貯蔵/保管状況等		インベントリ (令和2年6月末時点)		建家の耐震分類	構造	耐震性*1	耐津波性*2					
9	第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設 (2HASWS)	高放射性の固体廃棄物の貯蔵	雑固体廃棄物、ハルエンドピース等	ドラム容器 (貯蔵ラック10段積) BF	約1458本	~10 ¹⁵ Bq (プール水は ~10 ¹¹ Bq)	FP (Cs-137等)	A類	地下2階、地上3階 SRC造	設計地震動に対し、建家は維持される。	設計津波に対し、建家は維持される。	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・セルには、給気口等の開口部があるため、海水の流入は否定できず、プール水の一部が建家外に流出する可能性がある。 ・乾式セル内のドラム容器内に貯蔵されている雑固体廃棄物等と海水が接触し、放射性物質が建家外に流出する可能性がある。	プール水の一部が建家外に流出する可能性があるが、プール水のインベントリは小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)		
10	アスファルト固化処理施設 (ASP)	低放射性の液体廃棄物の貯蔵	低放射性濃縮廃液	廃液 (貯槽) BF2	約93 m ³	~10 ¹³ Bq	FP (Cs-137等)	B類	地下2階、地上4階 RC造	設計地震動に対し、建家が維持されない可能性がある。(地下階は維持される。)	設計津波に対し、建家が維持されない可能性がある。(地下階は維持される。)	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・設計地震動に対して、地下階の貯槽等は、維持されない可能性があるがそれを包含するセル等は維持される。 ・貯槽が設置されたセルは設計地震動及び設計津波に対して維持されるが、給気口等の開口部があるため、浸水する可能性がある。 ・セル内の貯槽の閉じ込めが維持されない可能性があり、貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性があるが、地下階においては、セルが維持されるため、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)		
11	アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1)	アスファルト固化体等の貯蔵	アスファルト固化体 プラスチック固化体	ドラム缶 (4本/フレーム 収納6段積) BF1~1F	13,754本 828本	~10 ¹⁴ Bq	C-14 FP (I-129, Cs-137等) FP (Cs-137等)	B類	地下1階 (一部地下2階)、地上1階 (一部地上3階) RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。	設計津波に対し、建家は維持される。	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・地震により蓋の外れた一部のドラム缶内の固体廃棄物と海水の接触により、ドラム缶内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性がある。	ドラム缶内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性があるが、インベントリは小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑦、⑧)		
12	スラッジ貯蔵場 (LW)	スラッジなどの貯蔵	廃溶媒 スラッジ	廃液 (貯槽) BF	約34 m ³ 約285 m ³	~10 ¹⁰ Bq ~10 ⁹ Bq	FP (Cs-137等) FP (Cs-137等)	B類	地上2階 (1階の一部は地下) RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。	設計津波に対し、建家は維持される。	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・設計地震動に対して、地下階の貯槽は、維持されない可能性がある。 ・貯槽内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性があるが、インベントリが小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ②)		
13	第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z)	低放射性の液体廃棄物の処理	低放射性濃縮廃液 低放射性廃液	廃液 (ライニング槽) BF	約849 m ³ 約385 m ³	~10 ¹¹ Bq ~10 ⁸ Bq	FP (Cs-137等) FP (Cs-137等)	B類	地下2階、地上4階 RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。	設計津波に対し、建家は維持される。	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・設計地震動に対して、地下階の貯槽は、維持されない可能性があるがそれを包含するセル、ライニング槽は維持される。 ・地下階のセル、ライニング槽には、給気口等の開口部があるため、津波の流入は否定できず、貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性があるが、セルが維持されるため、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)		

安全に関する情報リスト

施設の基本情報								津波シナリオ、影響評価、対策等							
No.	施設	A 施設の使用目的	B 主なインベントリ等			C 建家の耐震性/耐津波性評価			1 設計津波が来たら何が起きるか	2 設計津波により当該施設の安全機能が損われた場合の環境への影響評価・評価の前提とした対策	3 設計津波に対するリスクをより小さくするための対策等	4 潜在リスク、対策の効果等を踏まえた対策の優先度			
			性状・貯蔵/保管状況等		インベントリ (令和2年6月末時点)		建家の耐震分類	構造					耐震性*1	耐津波性*2	
14	第二スラッジ貯蔵場 (LW2)	スラッジなどの貯蔵	低放射性濃縮廃液	廃液 (ライニング槽) BF	約561 m ³	~10 ¹³ Bq	FP (137Cs等)	B類	地下2階、地上2階 RC造	設計地震動に対し、建家が維持されない可能性がある。(地下階は維持される。) 比: 1.3 (地上階)、7.9 (地下階)	設計津波に対し、建家が維持されない可能性がある。(地下階は維持される。) 比: 0.4	① 設計津波に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ② 設計地震動に対して、地下階のセル (ライニング貯槽) は維持される。 ・地下階のセルには、給気口等の開口部があるため、津波による海水の流入は否定できず、貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性があるが、セルが維持されるため、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)		
			スラッジ	廃液 (ライニング槽) BF	約874 m ³	~10 ⁹ Bq	FP (137Cs等)								
15	第二低放射性廃液蒸発処理施設 (E)	低放射性の液体廃棄物の処理	低放射性廃液 (運転時)	廃液 (蒸発缶)	約6 m ³	~10 ⁵ Bq	FP (Cs-137等)	B類	地下1階、地上3階 RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。 比: 1.9	設計津波に対し、建家は維持されない可能性があり、浸水する。 比: 0.8	・設計津波に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・設計地震動に対して、蒸発缶が維持されず、廃液が建家外に流出する可能性がある。	蒸発缶の廃液が建家外に流出する可能性があるが、インベントリは小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ①)		
16	廃溶媒貯蔵場 (WS)	廃溶媒の貯蔵	廃溶媒	廃液 (貯槽) BF	約55 m ³	~10 ¹⁰ Bq	FP (Cs-137等)	B類	地下1階、地上2階 RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。(地下階は維持される。) 比: 1.8	設計津波に対し、建家は維持されない可能性があり、浸水する。 比: 0.8	・設計津波に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・設計地震動に対して、地下階の貯槽は、維持されない可能性があるがそれを包含するセルは維持される。 ・地下階のセルには、給気口等の開口部があるため、津波の流入は否定できず、貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内の廃液が建家外に流出する可能性があるが、セルが維持されるため、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)		
17	放出廃液油分除去施設 (C)	低放射性の液体廃棄物の処理及び放出	低放射性廃液	廃液 (貯槽) BF	約770 m ³	~10 ¹⁰ Bq	H-3	C類	地下1階、地上3階 RC造	設計地震動に対し、建家が維持されない可能性がある。(地下階は維持される。) 比: 1.1 (地上階)、4.2 (地下階)	設計津波に対し、建家は維持されない可能性がある。(地下階は維持される。) 比: 0.9	・設計津波に対して、建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・設計地震動に対して、地下階の貯槽等は、維持されない可能性があるがそれを包含するセル等は維持される。 ・地下階のセルには、給気口等の開口部があるため、海水の流入は否定できず、貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内の廃液が建家外に流出する可能性があるが、セルが維持されるため、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)		
			スラッジ	廃液 (貯槽) BF	約3 m ³	~10 ⁶ Bq	FP (Cs-137等)								
			廃活性炭	廃液 (貯槽) BF	約88 m ³	~10 ¹⁰ Bq	FP (Cs-137等)								
■	第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2)	アスファルト固化体等の貯蔵	アスファルト固化体	ドラム缶 (4本/パレット 収納3段積) BF1~2F	16,213本	~10 ¹⁴ Bq	C-14 FP (I-129、Cs-137等)	B類	地下1階 (一部地下2階)、地上3階 (一部地上4階) RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。 比: 1.8	設計津波に対し、建家は維持される。 比: 3.9	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・地震により蓋の外れた一部のドラム缶内の固体廃棄物と海水の接触により、ドラム缶内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性がある。	ドラム缶内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性があるが、インベントリが小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑦、⑨)		
			プラスチック固化体		984本		FP (Cs-137等)								
			雑固体廃棄物		19本		FP (Cs-137等)								

安全に関する情報リスト

施設の基本情報										津波シナリオ、影響評価、対策等						
No.	施設	A 施設の使用目的	B 主なインベントリ等					C 建家の耐震性/耐津波性評価				1 設計津波が来たら何が起きるか	2 設計津波により当該施設の安全機能が損われた場合の環境への影響評価・評価の前提とした対策	3 設計津波に対するリスクをより小さくするための対策等	4 潜在リスク、対策の効果等を踏まえた対策の優先度	
			性状・貯蔵/保管状況等		インベントリ (令和2年6月末時点)			建家の耐震分類	構造	耐震性*1	耐津波性*2					
19	ウラン脱硝施設 (DN)	ウランの脱硝							B類	地下1階、地上3階(一部塔屋) RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。 比: 2.0	設計津波に対し、建家は維持される。 比: 1.2	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・設計地震動に対して、地下階の貯槽は、維持されない可能性があり、ウラン溶液の一部が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内のウラン溶液の一部が建家外に流出する可能性があるが、インベントリが小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ④)	○U溶液の安定化(粉末化)及び施設外への搬出	【優先度③】U溶液の安定化・施設外への搬出
20	低放射性濃縮廃液貯蔵施設 (LWSF)	低放射性の廃液などの貯蔵	低放射性濃縮廃液	廃液(貯槽・ライニング槽) BF	約1,054 m ³	~10 ¹⁴ Bq	C-14 FP (I-129, Cs-137等)	B類	地下2階、地上2階 RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。 比: 2.1	設計津波に対し、建家は維持される。 比: 1.1	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・設計地震動に対して、地下階の貯槽は、維持されない可能性があるがそれを包含するセルは維持される。 ・地下階のセル、ライニング槽には、給気口等の開口部があるため、海水の流入は否定できず、貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性があるが、セルが維持されるため、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)	検討中		
			リン酸廃液	廃液(貯槽) BF	約17 m ³	~10 ¹² Bq	FP (Cs-137等)									
21	廃溶媒処理技術開発施設 (ST)	廃溶媒、廃希釈剤の処理	廃溶媒	廃液(貯槽) BF	約6 m ³	~10 ¹⁰ Bq	FP (Cs-137等)	B類	地下2階、地上3階 RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。 比: 2.1	設計津波に対し、建家は維持される。 比: 1.4	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・設計地震動に対して、地下階の貯槽は、維持されない可能性があるがそれを包含するセルは維持される。 ・地下階のセルには、給気口等の開口部があるため、海水の流入は否定できず、貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性がある。	貯槽内の廃液の一部が建家外に流出する可能性があるが、セルが維持されるため、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑤)			
22	低放射性廃棄物処理技術開発施設 (LWTF)低放射性廃棄物処理技術開発棟	低放射性の液体及び固体廃棄物の処理	現状は放射性物質の取扱いなし。	-	-	-	-	B類	地下2階、地上5階 RC造	設計地震動に対し、建家は維持されない可能性がある。 比: 1.4	設計津波に対し、建家は維持される。 比: 4.1					
23	ウラン貯蔵所 (UO3)	ウラン製品の貯蔵						C類	平屋 RC造(屋根部はS造)	設計地震動に対し、建家が維持されない可能性がある。 比: 0.9	設計津波に対し、建家が維持されない可能性がある。 比: 0.9	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・容器の破損等により、放射性物質の一部が建家外に流出する可能性がある。	容器内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性があるが、インベントリが小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑥)	○容器の固縛	【優先度②】容器の固縛	
24	除染場 (DS)	汚染機器類の除染	放射性廃棄物等の貯蔵はない。	-	-	-	-	C類	地上2階 RC造	設計地震動に対し、建家が維持されない可能性がある。 比: 追而	設計津波に対し、建家が維持されない可能性がある。 比: 追而	設計地震動及び設計津波に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。	放射性物質の貯蔵はないため、環境への影響はない。			

安全に関する情報リスト

施設の基本情報										津波シナリオ、影響評価、対策等					
No.	施設	A 施設の使用目的	B 主なインベントリ等				C 建家の耐震性/耐津波性評価				1 設計津波が来たら何が起きるか	2 設計津波により当該施設の安全機能が損われた場合の環境への影響評価・評価の前提とした対策	3 設計津波に対するリスクをより小さくするための対策等	4 潜在リスク、対策の効果を踏まえた対策の優先度	
			性状・貯蔵/保管状況等		インベントリ (令和2年6月末時点)		建家の耐震分類	構造	耐震性*1	耐津波性*2					
25	焼却施設 (IF)	低放射性的可燃性固体廃棄物などの焼却処理	低放射性固体廃棄物 (可燃)	カートンボックス、袋 BF1~3F	約2,500kg	~10 ⁹ Bq					FP (Cs-137等)	B類	地下1階、地上5階 RC造	設計地震動に対し、建家は維持される。比：3.2	設計津波に対し、建家は維持されない可能性がある。比：3.0
			焼却灰	ドラム缶 BF1	約320kg	~10 ¹⁰ Bq									
			希釈剤 (回収ドデカン)	貯槽内 BF1	約200L	~10 ⁵ Bq									
			廃活性炭	貯槽内 3F	約150kg	~10 ⁷ Bq									
26	第二低放射性固体廃棄物貯蔵場 (2LASWS)	低放射性的の固体廃棄物の貯蔵	雑固体廃棄物	ドラム缶 (4本/パレット 収納3段積) コンテナ (3段積) BF1~2F	約11615本	~10 ¹² Bq	FP (Cs-137等) Pu U	C類	地下1階、地上2階 RC造 (一部S造)	設計地震動に対し、建家が維持されない可能性がある。比：1.4	設計津波に対し、建家は維持される。比：2.2	・設計地震動に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・地震により蓋の外れた一部の廃棄物容器 (ドラム缶等) 内の固体廃棄物と海水の接触により、廃棄物容器内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性がある。	廃棄物容器内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性があるが、インベントリは小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑥、⑧)	○容器の固縛	【優先度②】 容器の固縛
27	第二ウラン貯蔵所 (2UO3)	ウラン製品の貯蔵	ウラン製品 (三酸化ウラン粉末)					C類	平屋 (一部2階) RC造 (屋根部はS造)	設計地震動に対し、建家が維持されない可能性がある。比：1.1 (貯蔵庫)	設計津波に対し、建家は維持されない可能性がある。比：0.6 (貯蔵庫)	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・容器の破損等により、放射性物質の一部が建家外に流出する可能性がある。	容器内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性があるが、インベントリは小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑥)	○容器の固縛	【優先度②】 容器の固縛
28	第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 (1LASWS)	低放射性的の固体廃棄物の貯蔵	雑固体廃棄物	ドラム缶 (4本/パレット 収納3段積) コンテナ (3段積) BF1~5F	約33,323本	~10 ¹³ Bq	FP (Cs-137等) Pu U	C類	地下1階、地上5階 SRC造	設計地震動に対し、建家は維持される。比：1.8	設計津波に対し、建家は維持される。比：5.0	・設計地震動及び設計津波に対して建家は維持される。 ・建家の開口部等から、浸水する可能性がある。 ・地震により蓋の外れた一部の廃棄物容器 (ドラム缶等) 内の固体廃棄物と海水の接触により、廃棄物容器内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性がある。	廃棄物容器内の放射性物質の一部が建家外に流出する可能性があるが、インベントリは小さく、環境への影響は大きくない。(シナリオ⑦、⑨)	○容器の固縛	【優先度②】 容器の固縛
29	第三ウラン貯蔵所 (3UO3)	ウラン製品の貯蔵	ウラン製品 (三酸化ウラン粉末)					C類	平屋 (一部2階) SRC造 (屋根部はS造)	設計地震動に対し、建家は維持される。比：2.8	設計津波に対し、建家は維持されない可能性がある。比：0.5、8.5 (コンクリートピット)	・設計津波に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・容器はピット内に保管されており、コンクリートピットは維持される。	容器はピット内に保管されており、放射性物質の流出はないため、環境への影響はない。		
30	リサイクル機器試験施設 (RETF)	—	放射性物質の取扱なし。	—	—	—	—	A類	地下2階、地上6階 SRC造						
31	排水モニタ室	放出廃液の放射能測定	放出廃液	—	—	—	—	C類	平屋 (一部地下1階) RC造	追而	追而	・設計地震動・設計津波に対して建家は維持されない可能性があり、浸水する。 ・配管の破損等により、放出廃液が建家外へ流出する可能性がある。	放出廃液が建家外に流出する可能性があるが、インベントリはごくわずかであり、環境への影響はない。		